

青森県保健医療計画変更（素案）新旧対照表【5 疾病・5 事業及び在宅医療】

変 更 後

第 3 節 心筋梗塞等の心血管疾患対策 （略）

第 1 現状と課題 （略）

第 2 施策の方向

1 医療連携体制の圏域（心筋梗塞等の心血管疾患） （略）

2 施策の方向性

（ 1 ） 発症予防及び再発予防のための県民への啓発

（目指す方向性） （略）

（目標）

目標項目	現状値	目標値	備 考
（略）	（略）	（略）	（略）
喫煙率	男性 36.1% <u>（平成 22 年）</u>	男性 23%以下	【現状値の出典】 青森県 青森県県民健康・栄養調査（5 年毎）
	女性 7.9% <u>（平成 22 年）</u>	女性 5%以下	【現状値の出典】 青森県 青森県県民健康・栄養調査（5 年毎）
<u>（項目削除）</u>			
急性心筋梗塞（S T 上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間	中央値：160 分 <u>（平成 29 年）</u>	短縮	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患対策協議会調べ

（施策） （略）

（ 2 ） 発症後、速やかな救命処置の実施と搬送が可能な体制

（目指す方向性） （略）

（目標）

現 行

第 3 節 心筋梗塞等の心血管疾患対策 （略）

第 1 現状と課題 （略）

第 2 施策の方向

1 医療連携体制の圏域（心筋梗塞等の心血管疾患） （略）

2 施策の方向性

（ 1 ） 発症予防及び再発予防のための県民への啓発

（目指す方向性） （略）

（目標）

目標項目	現状値	目標値	備 考
（略）	（略）	（略）	（略）
喫煙率	男性 36.1% 女性 7.9% （平成 22 年）	男性 23%以下 女性 5%以下	【現状値の出典】 青森県 青森県県民健康・栄養調査（5 年毎）
虚血性心疾患により救急搬送された患者数	100 人 （平成 26 年）	減少	【現状値の出典】 厚生労働省 患者調査（3 年毎）
急性心筋梗塞（S T 上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間	—	短縮	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患対策協議会調べ

（施策） （略）

（ 2 ） 発症後、速やかな救命処置の実施と搬送が可能な体制

（目指す方向性） （略）

（目標）

変更後

目標項目	現状値	目標値	備考
急性心筋梗塞（ＳＴ上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間	<u>中央値：160 分</u> <u>(平成 29 年)</u>	短縮	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患 対策協議会調べ
(略)	(略)	(略)	(略)

(施策) (略)

(3) 発症後、速やかに疾患に応じた専門的診療が可能な体制
(目指す方向性) (略)
(目標)

目標項目	現状値	目標値	備考
急性心筋梗塞に対し、症状発現後 12 時間以内に来院し、来院から 90 分以内にバルーンカテーテルによる責任病変の再開通が達成された件数	<u>371 件中</u> <u>261 件</u> <u>(平成 29 年)</u> <u>参考：70.4%</u>	増加	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患 対策協議会調べ
<u>(項目削除)</u>			

(施策) (略)

第 3 目指すべき医療機能の姿 (略)
指標一覧 (略)

現行

目標項目	現状値	目標値	備考
急性心筋梗塞（ＳＴ上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間	－	短縮	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患 対策協議会調べ
(略)	(略)	(略)	(略)

(施策) (略)

(3) 発症後、速やかに疾患に応じた専門的診療が可能な体制
(目指す方向性) (略)
(目標)

目標項目	現状値	目標値	備考
急性心筋梗塞に対し、症状発現後 12 時間以内に来院し、来院から 90 分以内にバルーンカテーテルによる責任病変の再開通が達成された件数	－	増加	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患 対策協議会調べ
心臓カテーテル治療実施不可能な医療機関から、実施可能な医療機関への転院時間	－	短縮	【現状値の出典】 青森県 心血管疾患 対策協議会調べ

(施策) (略)

第 3 目指すべき医療機能の姿 (略)
指標一覧 (略)

変 更 後														現 行													
第4節 糖尿病対策 第1 現状と課題 (略) 第2 施策の方向 1 圏域 (略) 2 施策の方向性 (目標) (略) (施策) (略) 第3 目指すべき医療機能の姿 (略) 指標一覧														第4節 糖尿病対策 第1 現状と課題 (略) 第2 施策の方向 1 圏域 (略) 2 施策の方向性 (目標) (略) (施策) (略) 第3 目指すべき医療機能の姿 (略)													
指標番号	病期	SPO	重要◎ 参考○	指標名	集計単位	指 標								定義	調査名等	調査年 (調査周期)											
1～ 16	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)								(略)	(略)	(略)											
17	合併症 予防を 含む専 門治療	S	○	1型糖尿病に 対する専門 的治療を行う 医療機関数	都道府県		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	C152(間歇注入 シリンジポンプ加 算)、C152-2(持 続血糖測定器加 算 シリンジポンプ 付き)の算定件数	NDB(National database)	令和元年度											
						総数	29.0	18	21	19	9	14	17														
						人口10万人 あたり	1.1	1.4	1.7	0.8	0.9	1.3	0.9														
18～ 27	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)								(略)	(略)	(略)											
28	合併症 治療	○	○	糖尿病患者 の新規下肢 切断術の件 数	都道府県		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	K084(四肢切断 術 大腿・下腿)、 K085(四肢関節 離断術 股・膝・ 足・指)の診療行 為を抽出	NDB(National database)	令和元年度											
						総数	167.1	112	61	128	46	46	104														
						人口10万人 あたり	6.2	8.7	4.9	5.6	4.6	4.2	5.5														
29	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)								(略)	(略)	(略)											

変 更 後	現 行
<div data-bbox="47 276 315 335">第 5 節 精神疾患対策 ※見直し中</div>	<div data-bbox="1131 276 1489 304">第 5 節 精神疾患対策 （略）</div>

変更後

現行

第6節 救急医療対策
第1 現状と課題（略）
第2 施策の方向
 1 医療連携体制の圏域（略）
 2 施策の方向性
 （目標）（略）
 （施策）（略）
第3 目指すべき医療機能の姿（略）
指標一覧

第6節 救急医療対策
第1 現状と課題（略）
第2 施策の方向
 1 医療連携体制の圏域（略）
 2 施策の方向性
 （目標）（略）
 （施策）（略）
第3 目指すべき医療機能の姿（略）

指標番号	病期	SPO	指標名	指標								調査名等	備考
1～7	(略)	(略)	(略)	(略)								(略)	(略)
8	救護・初期救急・入院救急・救命救急	P	救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	救急・救助の現況【消防庁】 (平成27年中)	東北6県平均39.8分
				平均時間(分)	39.4	35.9	43.1	42.5	36.1	37.7	43.4		
9～16	(略)	(略)	(略)	(略)								(略)	(略)
17	救命救急	S	救命救急センターの充実度評価S及びAの割合		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	救命救急センターの評価結果【厚生労働省】 (平成28年度)	
				割合(%)	99.3	100	100	100	100	100	100		
18～19	(略)	(略)	(略)	(略)								(略)	(略)

変更後

現行

第7節 災害医療対策
第1 現状と課題（略）
第2 施策の方向
1 医療連携体制の圏域（略）
2 施策の方向性
（目標）（略）
（施策）（略）
第3 目指すべき医療機能の姿（略）
指標一覧

指標番号	医療機能	S P O	指 標 名	定 義	現状値	調査名等	全国平均
1	・災害時に拠点となる病院 ・災害時に拠点となる病院以外の病院 ・県	P	医療チーム等の受入を想定し、県災害対策本部等で関係機関等との連携確認を行う訓練の実施	災害時の医療チーム等の受入を想定し、都道府県災害対策本部、都道府県医療本部で関係機関（消防、警察、保健所、市町村等）、公共輸送機関等との連携の確認を行う災害訓練の実施回数	2回	医療薬務課調査（平成28年度）	－
2～13	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）	（略）
14	・県	S	災害医療コーディネーター任命者数	災害医療コーディネーターの任命を受けた医療従事者数	35名	医療薬務課調査（令和2年4月）	35名
15		S	災害時小児周産期リエゾン任命者数	災害小児周産期リエゾンの任命を受けた医療従事者数	13名	医療薬務課調査（令和2年8月）	4名
16		P	医療従事者に対する災害医療教育の実施回数	県が実施する医療従事者向けの実施回数	5回	医療薬務課調査（令和2年1月）	6回

変 更 後						現 行									
第8節 周産期医療対策 第1 現状と課題（略） 第2 施策の方向 1 医療連携体制の圏域（略） 2 施策の方向性 （目標）（略） （施策）（略） 第3 目指すべき医療機能の姿（略） 指標一覧						第8節 周産期医療対策 第1 現状と課題（略） 第2 施策の方向 1 医療連携体制の圏域（略） 2 施策の方向性 （目標）（略） （施策）（略） 第3 目指すべき医療機能の姿（略）									
指標 番号	医療機能		指 標 名		現状値	調査名等 （調査周期）	地域の状況						備考		
1～6	（略）	（略）	（略）		（略）	（略）	（略）						（略）		
7	○妊婦の健康管理 ○周産期医療体制の充実・強化	S	ハイリスク妊産婦連携指導料1・2届出医療機関数	B005-10.B005-10-2 ハイリスク妊産婦連携指導料1・2の届出医療機関数	7施設 （令和2年3月2日）	診療報酬施設基準（毎年）	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北6県平均9.8施設 全国平均18.7施設		
8～11	（略）	（略）	（略）		（略）	（略）	（略）						（略）		
12	○周産期医療体制の充実強化	S	災害時小児周産期リエゾン任命者数	総数	13人 （令和2年10月1日）	医療薬務課調査（毎年）	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北6県平均10.8人 全国平均4.0人（令和元年8月1日）		
13～37	（略）	（略）	（略）		（略）	（略）	（略）						（略）		

変 更 後													現 行			
第9節 小児医療対策（小児救急を含む） 第1 現状と課題（略） 第2 施策の方向 1 医療連携体制の圏域（略） 2 施策の方向性 （目標）（略） （施策）（略） 第3 目指すべき医療機能の姿（略） 指標一覧													第9節 小児医療対策（小児救急を含む） 第1 現状と課題（略） 第2 施策の方向 1 医療連携体制の圏域（略） 2 施策の方向性 （目標）（略） （施策）（略） 第3 目指すべき医療機能の姿（略）			
病期	SED	重要◎ 参考○ 県設定★	指標番号	指標名	集計単位	指標							定義	調査名等	調査年 （調査周期）	
地域・相談支援等	S （ストラクチャー指標）	◎		子ども医療電話相談の回線数	都道府県		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	子ども医療電話相談の最大回線数・相談件数	都道府県調査	平成27年度
			1			小児人口10万人あたり	1	1	3	1	2	1	1			
		◎		子ども医療電話相談の相談件数	都道府県		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	子ども医療電話相談の最大回線数・相談件数	都道府県調査	平成27年度
			2			総数	16,023	5,369	3,627	16,827	1,675	3,761	9,985			
			3	小児人口10万人対	4,566	3,418	2,321	5,632	1,493	2,697	4,092					
		○		小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	都道府県		東北平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	指定小児慢性特定疾病医療機関として指定を受けている訪問看護ステーション数	県独自調査	平成29年
4	総数		46			30	48	98	31	32	38					
5	20歳未満人口10万人あたり		19			14	23	24	21	17	12					

変 更 後												現 行				
病期	SED	重要◎ 参考○ 県設定★	指標番号	指標名	集計単位	指標							定義	調査名等	調査年 (調査周期)	
地域・相談支援等	S (ストラクチャー指標)	Q		小児の訪問診療を実施している診療所・病院数	都道府県		東北平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	在宅患者訪問診療(1日につき)を算定した医療機関(15歳未満)	NDB	平成30年
			6			総数	0	*	0	0	0	0	*			
(略)	(略)	(略)	7～8	(略)	(略)	(略)							(略)	(略)	(略)	
地域・相談支援等	P (プロセス指標)	Q		小児の訪問診療を受けた患者数	都道府県		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	訪問診療を受けた患者数(15歳未満)(算定回数)	NDB	平成30年
			9			総数	137	18	238	417	26	0	123			
			10			小児人口10万人あたり	79	12	163	146	25	0	54			
				小児の訪問看護利用者数	二次医療圏		全国平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	訪問看護の提供を受ける利用者のうち、15歳未満の者	NDB	平成30年
11	総数	33.0	7.7			15.3	99.2	0.0	45.7	30.2						
(略)	(略)	(略)	12～52	(略)	(略)	(略)							(略)	(略)	(略)	
別枠	S (ストラクチャー指標)	Q		災害小児周産期リエゾン任命者数	都道府県		東北平均	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	災害小児周産期リエゾンの任命を受けた医療従事者数	都道府県調査	令和元年
			53			総数	10.8	13	10	8	6	14	14			

変 更 後	現 行																																
<div>第10節　へき地医療対策</div> <div>第1　現状と課題（略）</div> <div>1　へき地医療の体制（略）</div> <div>2　従来の圏域（略）</div> <div>※令和2年2月に青森圏域のへき地医療拠点病院として県立中央病院が指定された。 （令和3年3月追加）</div> <div>第2　施策の方向</div> <div>1　圏域（略）</div> <div>※令和2年2月に青森圏域のへき地医療拠点病院として県立中央病院が指定された。 （令和3年3月追加）</div> <div>2　施策の方向性（略）</div> <div>（1）　医療を確保する体制（略）</div> <div>（2）　診療を支援する体制</div> <div>①　～ ②　（略）</div> <div>③　へき地医療拠点病院からの代診医派遣等の機能強化 （目標）</div> <table><tr><th>目標項目</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>備考</th></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td></tr><tr><td>主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合（令和3年3月追加）</td><td>66.7% （令和元年度）</td><td>100%</td><td>県医療薬務課調べ</td></tr><tr><td>必須事業（上記主要3事業及び遠隔医療による支援）の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合（令和3年3月追加）</td><td>83.3% （令和元年度）</td><td>100%</td><td>県医療薬務課調べ</td></tr></table> <div>（施策）　（略）</div> <div>④　（略）</div> <div>第3　目指すべき医療機能の姿（略）</div> <div>※令和2年2月に青森圏域のへき地医療拠点病院として県立中央病院が指定された。 （令和3年3月追加）</div>	目標項目	現状値	目標値	備考	（略）	（略）	（略）	（略）	主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合（令和3年3月追加）	66.7% （令和元年度）	100%	県医療薬務課調べ	必須事業（上記主要3事業及び遠隔医療による支援）の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合（令和3年3月追加）	83.3% （令和元年度）	100%	県医療薬務課調べ	<div>第10節　へき地医療対策</div> <div>第1　現状と課題（略）</div> <div>1　へき地医療の体制（略）</div> <div>2　従来の圏域（略）</div> <div>（補記）</div> <div>第2　施策の方向</div> <div>1　圏域（略）</div> <div>（補記）</div> <div>2　施策の方向性（略）</div> <div>（1）　医療を確保する体制（略）</div> <div>（2）　診療を支援する体制</div> <div>①　～ ②　（略）</div> <div>③　へき地医療拠点病院からの代診医派遣等の機能強化 （目標）</div> <table><tr><th>目標項目</th><th>現状値</th><th>目標値</th><th>備考</th></tr><tr><td>（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td><td>（略）</td></tr><tr><td>（新設）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>（新設）</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>（施策）　（略）</div> <div>④　（略）</div> <div>第3　目指すべき医療機能の姿（略）</div> <div>（補記）</div>	目標項目	現状値	目標値	備考	（略）	（略）	（略）	（略）	（新設）				（新設）			
目標項目	現状値	目標値	備考																														
（略）	（略）	（略）	（略）																														
主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合（令和3年3月追加）	66.7% （令和元年度）	100%	県医療薬務課調べ																														
必須事業（上記主要3事業及び遠隔医療による支援）の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合（令和3年3月追加）	83.3% （令和元年度）	100%	県医療薬務課調べ																														
目標項目	現状値	目標値	備考																														
（略）	（略）	（略）	（略）																														
（新設）																																	
（新設）																																	

変更後

現行

無医地区等の医療提供体制（略）
指標一覧

無医地区等の医療提供体制（略）

指標番号	機能	SPO	重要◎参考○県設定★	指標名	集計単位	定義	調査名等	調査年	指標							
1～28	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)							
<u>29</u>	<u>へき地支援医療</u>	E	◎	<u>へき地医療拠点病院の中で主要3事業(※1)の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合</u>	<u>都道府県</u>	<u>へき地医療現況調査の記入要領に準ずる</u>	<u>へき地医療現況調査</u>	<u>令和元年度</u>		<u>全国</u>	<u>青森県</u>	<u>岩手県</u>	<u>宮城県</u>	<u>秋田県</u>	<u>山形県</u>	<u>福島県</u>
									<u>総数(%)</u>	<u>65.2</u>	<u>66.7</u>	<u>75.0</u>	<u>50.0</u>	<u>60.0</u>	<u>75.0</u>	<u>100.0</u>
<u>30</u>		E	◎	<u>へき地医療拠点病院の中でへき地医療拠点病院の必須事業(※2)の実施回数 が年間1回以上の医療機関の割合</u>	<u>都道府県</u>	<u>へき地医療現況調査の記入要領に準ずる</u>	<u>へき地医療現況調査</u>	<u>令和元年度</u>		<u>全国</u>	<u>青森県</u>	<u>岩手県</u>	<u>宮城県</u>	<u>秋田県</u>	<u>山形県</u>	<u>福島県</u>
									<u>総数(%)</u>	<u>84.2</u>	<u>83.3</u>	<u>100.0</u>	<u>50.0</u>	<u>60.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>
<u>31～35</u>	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)							

※1 主要3事業：へき地医療拠点病院における①へき地への巡回診療、②へき地診療所等への医師派遣、③へき地診療所等への代診医派遣

※2 必須事業：へき地医療拠点病院の事業の内、いずれかは必須で実施すべきとされている以下の事業

- ・巡回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること
- ・へき地診療所等への代診医等の派遣(継続的な医師派遣も含む)及び技術指導、援助に関すること。
- ・遠隔医療等の各種診療支援に関すること。

変 更 後	現 行																																
第 1 1 節 在宅医療対策 第 1 現状と課題 (略) 第 2 施策の方向 1 医療連携体制の圏域 (略) 2 施策の方向性 (目標) (略) (施策) (略) ＜＜在宅医療の整備目標＞＞ <u>※見直し中</u>	第 1 1 節 在宅医療対策 第 1 現状と課題 (略) 第 2 施策の方向 1 医療連携体制の圏域 (略) 2 施策の方向性 (目標) (略) (施策) (略) ＜＜在宅医療の整備目標＞＞ 在宅医療の整備目標の設定に当たっては、第 7 期介護保険事業（支援）計画（平成 30 年度～32 年度）との整合性を図るため、県と市町村が協議の上、平成 32 年度の目標値として次表のとおり設定しました。 なお、平成 35 年度の目標値については、第 8 期介護保険事業（支援）計画（平成 33 年度～35 年度）と整合的なものとなるように、現行計画の中間年（3 年目）に見直しのう え、改めて目標値を設定します。 <div>訪問診療により対応する患者数 (単位:人／日)</div> <table><tr><th>圏域</th><th>現状値 (平成25年度)</th><th>目標値 (平成32年度)</th><th>目標値※ (平成35年度)</th></tr><tr><td>津軽</td><td>1, 1 9 6</td><td>1, 3 0 8</td><td>1, 3 5 6</td></tr><tr><td>八戸</td><td>1, 5 6 7</td><td>1, 9 3 4</td><td>2, 0 9 1</td></tr><tr><td>青森</td><td>1, 6 5 7</td><td>1, 9 4 4</td><td>2, 0 6 8</td></tr><tr><td>西北五</td><td>1 9 3</td><td>2 2 2</td><td>2 3 4</td></tr><tr><td>上十三</td><td>6 8 6</td><td>7 9 4</td><td>8 4 1</td></tr><tr><td>下北</td><td>3 1 2</td><td>3 5 5</td><td>3 7 3</td></tr><tr><td>県合計</td><td>5, 6 1 1</td><td>6, 5 5 7</td><td>6, 9 6 3</td></tr></table> ※平成35年度の目標値については、現行計画の中間年に見直しを行います。	圏域	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成32年度)	目標値※ (平成35年度)	津軽	1, 1 9 6	1, 3 0 8	1, 3 5 6	八戸	1, 5 6 7	1, 9 3 4	2, 0 9 1	青森	1, 6 5 7	1, 9 4 4	2, 0 6 8	西北五	1 9 3	2 2 2	2 3 4	上十三	6 8 6	7 9 4	8 4 1	下北	3 1 2	3 5 5	3 7 3	県合計	5, 6 1 1	6, 5 5 7	6, 9 6 3
圏域	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成32年度)	目標値※ (平成35年度)																														
津軽	1, 1 9 6	1, 3 0 8	1, 3 5 6																														
八戸	1, 5 6 7	1, 9 3 4	2, 0 9 1																														
青森	1, 6 5 7	1, 9 4 4	2, 0 6 8																														
西北五	1 9 3	2 2 2	2 3 4																														
上十三	6 8 6	7 9 4	8 4 1																														
下北	3 1 2	3 5 5	3 7 3																														
県合計	5, 6 1 1	6, 5 5 7	6, 9 6 3																														
第 3 目指すべき医療機能の姿 (略)	第 3 目指すべき医療機能の姿 (略)																																

変 更 後											現 行		
指標一覧													
No.	機能	S／P	指標名	定義	現状値 下段：人口10万人当たり							出典	備考
					津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北	県計		
1 ～8	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)							(略)	(略)
9	日常の療養支援	S	小児の訪問診療を実施している診療所・病院数	在宅患者訪問診療料(1日につき)を算定した医療機関数(15歳未満)	0	*	0	0	0	0	* か所	H30年度 NDB	岩手県*、宮城県*、 秋田県*、山形県*、 福島県*
					0.0	*	0.0	0.0	0.0	0.0	*		岩手県*、宮城県*、 秋田県*、山形県*、 福島県*
10 ～12	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)							(略)	(略)
13	日常の療養支援	S	小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	15歳未満の利用者に対し訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	0	0	0	1	0	0	1 か所	H25年介護サービス施設・事業所調査	岩手県2、宮城県9、 秋田県0、山形県4、 福島県3
					0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.1		岩手県0.2、宮城県0.4、 秋田県0.0、山形県0.4、 福島県0.2
14	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)							(略)	(略)
15	日常の療養支援	S	訪問口腔衛生指導を実施している医療機関数	訪問口腔衛生指導を実施している医療機関数	7	12	6	4	3	0	32 か所	H30年度 NDB	岩手県64、宮城県84、 秋田県51、山形県66、 福島県58 ※現状値は秘匿分を除く合計
					2.4	3.7	1.9	3.0	1.7	0.0	2.4		岩手県5.1、宮城県6.6、 秋田県4.0、山形県5.2、 福島県4.6
16	日常の療養支援	S	在宅で活躍する栄養サポートチーム(NST)と連携する歯科医療機関数	在宅で活躍する栄養サポートチーム(NST)と連携する歯科医療機関数	*	*	0	0	0	0	* か所	H30年度 NDB	岩手県0、宮城県5、 秋田県6、山形県0、 福島県0 ※現状値は秘匿分を除く合計
					*	*	0.0	0.0	0.0	0.0	*		岩手県0.0、宮城県0.4、 秋田県0.5、山形県0.0、 福島県0.0
17 ～19	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)							(略)	(略)

